

(財)おかやま環境ネットワーク第13回理事会報告

日時：2003年8月23日(土) 10:00~12:00

参加：相賀 青山(委任) 太田 勝 佐藤(委任) 白井(欠) 清水 唯(委任)
千葉 成田(委任) 日名 藤原 三橋 三村(欠) 安場(委任) 由比濱 事務局：黒岩

- 1 03年度7月末決算報告は今年度の会費納入がほぼ予定に近い状況で進んでいること、支出面で特に広報費が企画案内郵送費で多くなっていること。会費は下期第3四半期に未納者への呼びかけと会員拡大対策をとること。団体、法人の新加入や脱退は理事会報告をとの意見があり、採用することを確認した。
- 2 事業報告など
テーマ別講座(第1回企画 7/12開催)は、31名申込27名参加で、小野芳郎先生の後援が好評だった。今回生協の地域の環境委員のまとまった参加があった。
ホテル連絡会(7/5)とホテルフォーラム開催(7/20)結果
 - ・ 今年度の各地のホテルの生育やホテルまつりの開催状況を交流、フォーラムの最終打ち合わせ。
 - ・ 「自然環境を守るおかやまホテルフォーラム」は、地元の「ホテルを育む会」の多大な協力と町のバックアップもあり、71名の参加で開催。大きな成果を得た。03年度エコファミリー講座(8/9・10)は14家族43名の参加があり、講師8名スタッフ3名の計57名で開催。台風で、初日は雨だったが予定通り進行。昨年と違ったところは往路のバスの中で「水と森」の話、夜は当地の山の話、翌日の大人のコースで森の間伐体験を企画に入れたこと。人数を絞り、ゆとりある進行となり、水辺教室では子どもへのフォローが充実し良かった。
- 3 部会などの報告
環境家計簿運動運営：7月末登録146名、データ提供106名。8月30日の登録者交流会は参加予定者27名。
企業部会：企業アンケートの集約結果は今後の企業支援に生かす。「企業支援策」の提案をまとめた。企業環境セミナーの企画を6月理事会の意見を踏まえて具体化し、第1回講座を準備中。
03年度市民環境リーダー養成講座は現在10名程度。これまでの受講生への案内がこれから。参加状況が厳しいが、新聞、タウン情報誌、テレビやFM放送の活用などを今後検討する。
第1回総合政策検討会ではネットワークの中長期の構想具体化を中心テーマに論議することを柱に、委員会の役割と現状の取り組み状況に関する意見交換をはかった。第2回より実質論議に。
- 4 その他 エコマインドネットワーク(庭頼)の活動費支援費行事報告、岡山県「循環資源情報提供システム検討ワーキング」第2回会合の報告があった。
- 5 テーマ別講座第2回企画(9/27)：「地球温暖化問題」の企画を確認。
- 6 03年度団体助成の応募に向け、「助成検討・審査会」で、募集の規則や書式の充実整備と応募が増えた場合の選考基準を検討し、次回理事会で確定し募集を開始する。テーマを設けた助成募集のあり方について総合政策検討会で論議する。
- 7 企業支援事業策は今年度試行的な位置づけで10月1日より開始し、今後事業の柱になるよう教訓を蓄積させる。岡山環境カウンセラー協会とサンキョウ公害技術センターに協力をしてもらおう。当面金額設定やコミッションは設けない。利用者に調査費や設備改善費の実費を商談の上で負担してもらおう。始め2ヶ月くらい相談日をもうける。相談日待ちでない取り組みとして、アンケート結果や、企業とのコンタクトをポジティブに取り組む。
- 8 おかやま環境フォーラムについて、7月25日開催の準備のための打合会は、企画についての思いがまちまちで、どのようなフォーラムが必要かという点での意見交換になった。幅広い市民や子どもの参加を得て環境問題に触れてもらう要素も入れながら、テーマごとの分科会で交流や討論の積み上げを行い、成果を集約できるような場とすることを望む声が強かった。この論議を踏まえて、9月中旬実行委員会立ち上げで、準備を始める。
- 9 岡山県主催エコフェスタ(10/12 コンベックス岡山山展示場)について市民団体からの展示参加が広がるようにネットワークで協力する。
- 10 真庭遺産研究会の「吉永町草葺き紀行・地域づくり草葺きフォーラム(9/13・14)」「草葺きシンポジウムin真庭(10/3・4・5)」企画の後援要請に応じる。

次回は 10月11日(土) 評議員会の開催月。